



# 2021年3月期 決算説明資料

---

株式会社ユー・エス・エス  
2021年5月

# 2021年3月期 連結業績の概要

---

2021.3  
実績

- 売上高748億円（前期比95.8%）、営業利益362億円（前期比100.6%）
  - ・ オートオークションは第1四半期で底打ちし、第2四半期以降は回復基調へ。
  - ・ 中古車輸出台数は、新型コロナウイルス感染症の影響で減少。
  - ・ 中古自動車等買取販売は、販売台数が減少するも、好調なオークション相場に支えられ大幅な増益。
  - ・ リサイクル事業は取扱量が減少するも、資源相場が上昇傾向で推移し減収増益。
- JAA・HAA神戸に係る特別損失217億円を計上
  - ・ 2017年のJAAとHAA神戸の子会社化後、USSオークション基準に統一。この結果、取扱台数が減少、当初予想収益が見込めなくなり、HAA神戸会場ののれんの減損損失188億円を計上。また、両会場の顧客関連資産について固定資産除却損29億円を計上。

2022.3  
業績予想

- 売上高776億円
  - ・ 通期台数計画は、出品台数2,800千台、成約台数1,708千台、成約率61.0%
- 営業利益384億円

## 株主還元

- 2021.3期 1株当たり 55.5円（予定）
- 2022.3期 1株当たり 58.4円（予想）※22期連続増配を目指す
  - ・ 配当に関する基本方針：20.3期より連結配当性向を55%以上に引き上げ<sup>3</sup>

- 売上高748.7億円（前期比95.8%）、営業利益362.2億円（前期比100.6%）、親会社株主に帰属する当期純利益40.2億円（前期比19.5%）。
- JAA・HAA神戸に係る特別損失217億円を計上。
- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い出品台数は減少するも、2020年5月の緊急事態宣言解除後は回復基調となり、営業利益・経常利益は前期を上回る。

（単位：百万円）

	2020.3	2021.3	前期比	計画 (2020年11月9日時点)	計画比
売上高	78,143	74,874	95.8%	71,200	105.2%
売上原価 (売上比)	30,954 (39.6%)	28,341 (37.9%)	91.6%	28,310 (39.8%)	100.1%
売上総利益 (売上比)	47,188 (60.4%)	46,533 (62.1%)	98.6%	42,889 (60.2%)	108.5%
販売費及び一般管理費 (売上比)	11,179 (14.3%)	10,306 (13.8%)	92.2%	10,289 (14.5%)	100.2%
営業利益 (売上比)	36,009 (46.1%)	36,227 (48.4%)	100.6%	32,600 (45.8%)	111.1%
経常利益 (売上比)	36,710 (47.0%)	36,996 (49.4%)	100.8%	33,300 (46.8%)	111.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上比)	20,634 (26.4%)	4,022 (5.4%)	19.5%	22,100 (31.0%)	18.2%

※2021.3修正計画は2021年5月6日にも公表しておりますが、実績と同一になるため、11月9日公表の計画数値を記載しています。

■第4四半期（1～3月）では、営業利益、経常利益ともに過去最高益を更新。

（単位：百万円）

	2019.3 4Q	2020.3 4Q	2021.3 4Q	前年同期比
売上高	21,569	19,958	20,910	104.8%
売上原価 (売上比)	8,573 (39.7%)	7,817 (39.2%)	7,774 (37.2%)	99.4%
売上総利益 (売上比)	12,996 (60.3%)	12,141 (60.8%)	13,135 (62.8%)	108.2%
販売費及び一般管理費 (売上比)	2,986 (13.8%)	2,880 (14.4%)	2,667 (12.8%)	92.6%
営業利益 (売上比)	10,009 (46.4%)	9,260 (46.4%)	10,468 (50.1%)	113.0%
経常利益 (売上比)	10,452 (48.5%)	9,476 (47.5%)	10,625 (50.8%)	112.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益（▲純損失） (売上比)	7,066 (32.8%)	2,363 (11.8%)	▲13,693 (-)	-

# 2021年3月期 営業利益増減分析（実績）

## 売上高要因

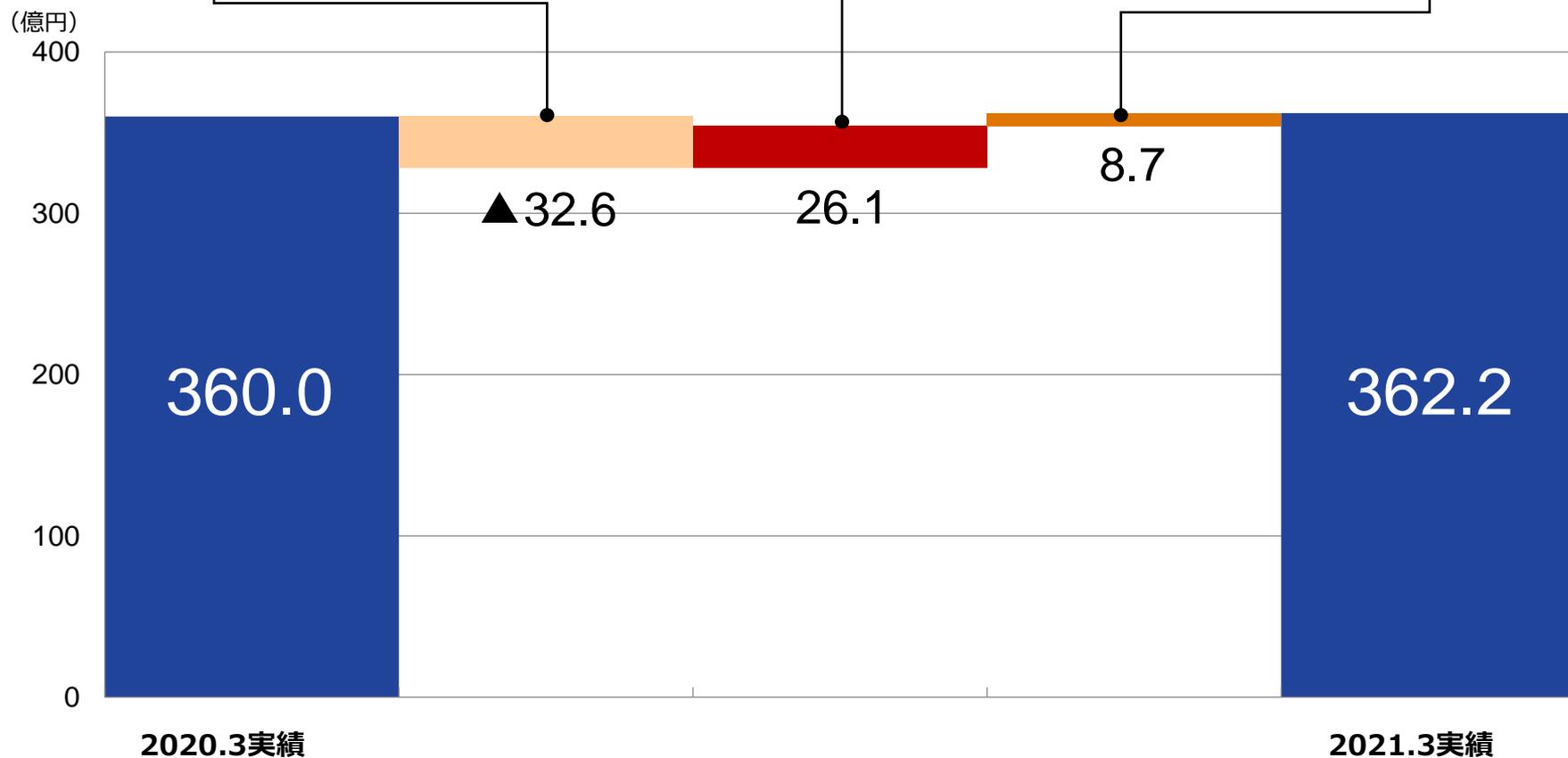
手数料単価増	17.3億円
出品台数減	▲46.1億円
中古自動車等買取販売減	▲4.5億円

## 売上原価要因

商品売上原価減	16.2億円
賃借料減	2.6億円
従業員給与・賞与減	2.4億円
仕入れ高減	1.7億円
業務委託費減	1.4億円

## 販管費要因

のれん償却額減	2.4億円
従業員給与・賞与減	1.0億円
販売促進費減	0.8億円
広告宣伝費減	0.7億円
運賃減	0.7億円
福利厚生費減	0.6億円



# 2021年3月期第4四半期（1月～3月） 営業利益増減分析（実績）

## 売上高要因

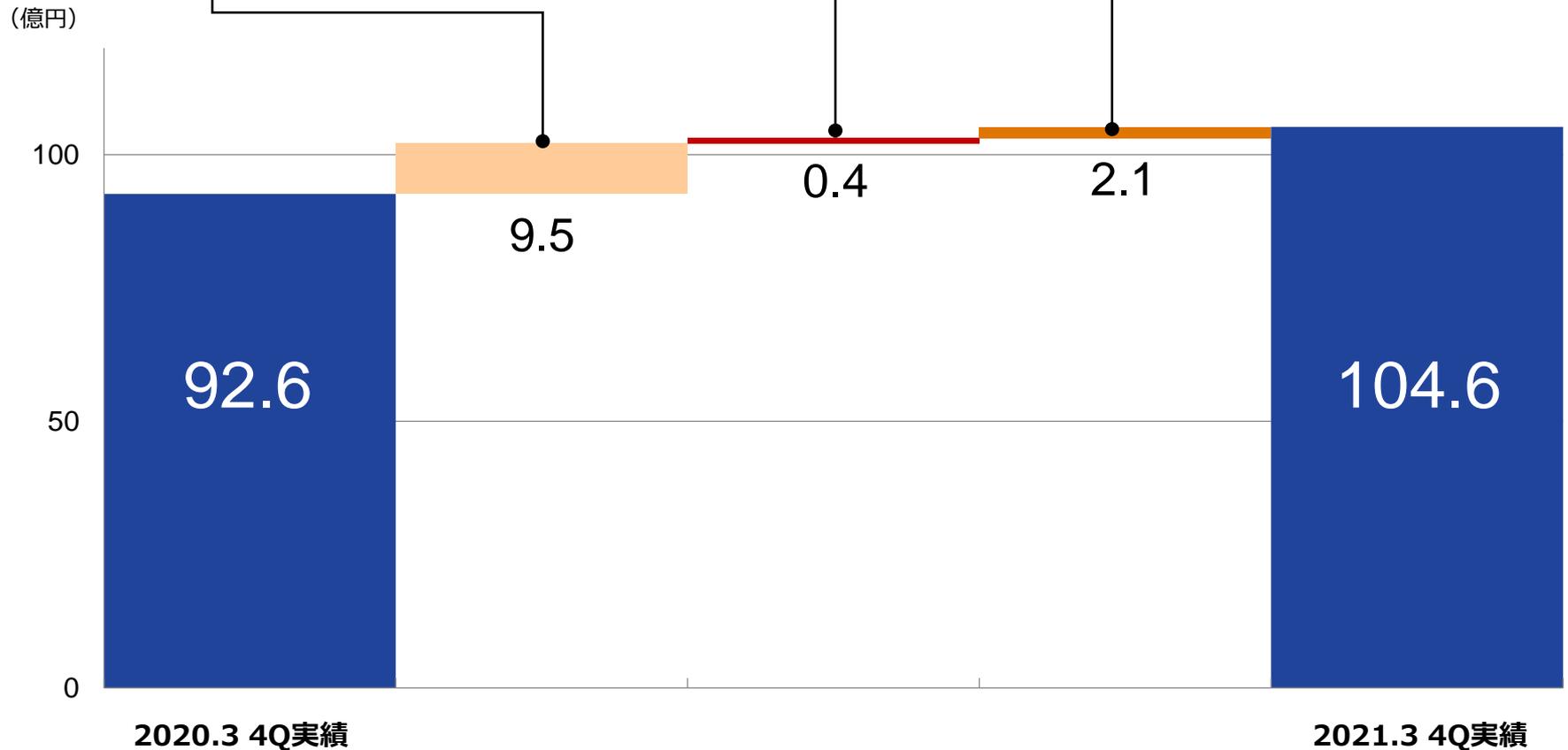
成約率増	7.1億円
手数料単価増	4.0億円
中古自動車等買取販売増	2.0億円
出品台数減	▲3.2億円

## 売上原価要因

仕入れ高減	1.8億円
原材料仕入原価増	▲1.5億円

## 販管費要因

のれん償却額減	0.7億円
福利厚生費減	0.6億円



## 連結業績の推移



## オートオークション



## 中古自動車等買取販売



## その他



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表しております。

- 投資活動によるキャッシュ・フローはR-名古屋会場の立体駐車場新築やHAA神戸会場の借地権取得などにより支出が増加。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは主に配当金の支払い。
- 自己資本比率は81.3%。

## 連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

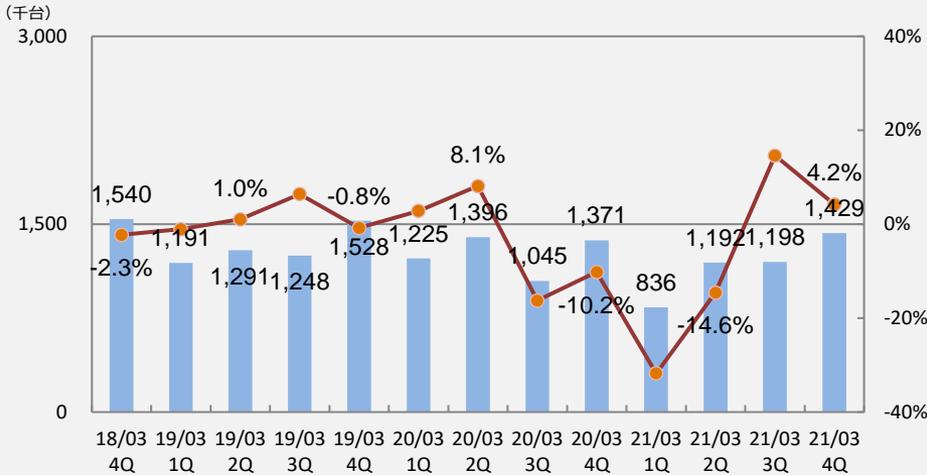
	2020.3	2021.3		2020.3	2021.3
流動資産	68,096	81,528	流動負債	24,497	26,922
現金及び預金	50,729	67,770	オークション借勘定	8,721	11,788
オークション貸勘定・他	17,367	13,757	その他	15,776	15,133
固定資産	151,037	129,171	固定負債	10,656	10,253
有形固定資産	106,747	103,302	負債合計	35,153	37,175
その他	44,289	25,869	純資産合計	183,980	173,524
資産合計	219,133	210,699	負債・純資産合計	219,133	210,699

## 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

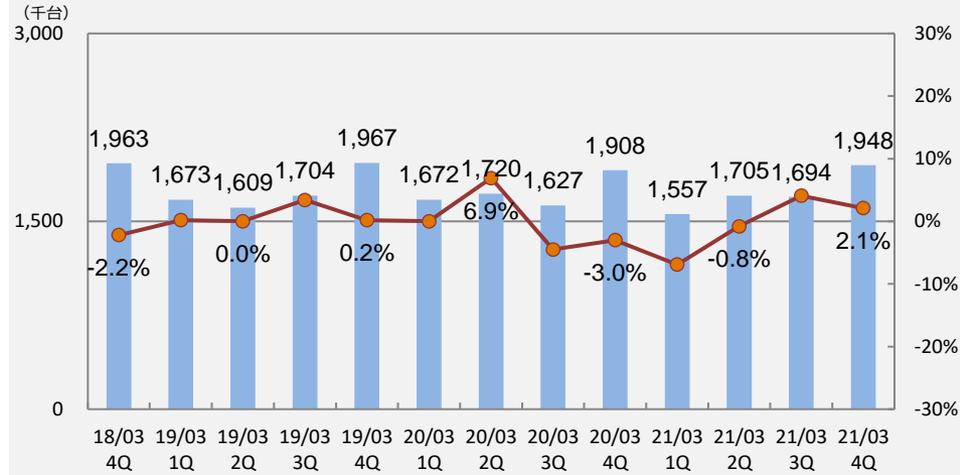
（単位：百万円）

	2019.3	2020.3	2021.3	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,894	27,245	38,407	11,161
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,496	▲4,906	▲9,330	▲4,424
フリーキャッシュ・フロー	31,398	22,339	29,076	6,736
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲19,668	▲16,963	▲15,035	1,927
設備投資（支出ベース）	2,428	4,523	8,985	4,461
減価償却費	5,299	5,037	5,334	297

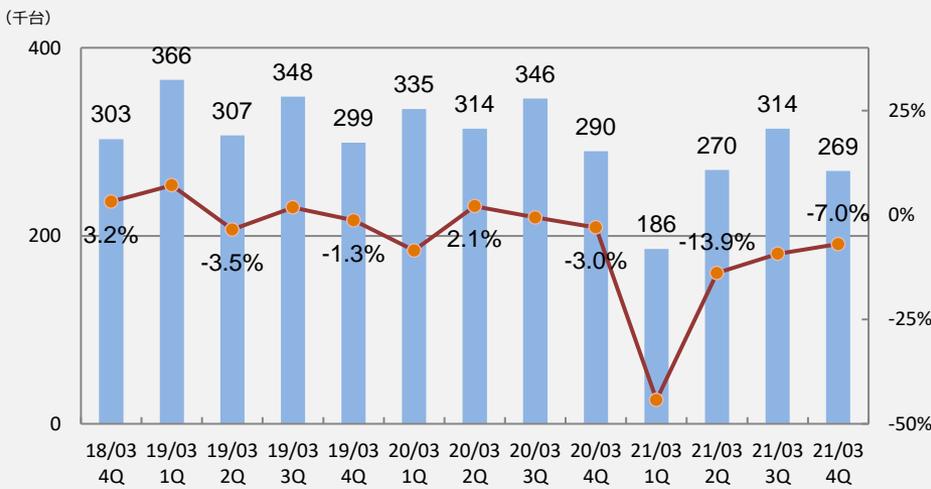
## 新車登録台数と前年同期比



## 中古車登録台数と前年同期比



## 中古車輸出台数と前年同期比



## AA市場 出品・成約台数と前年同期比



# オートオークションのセグメント①

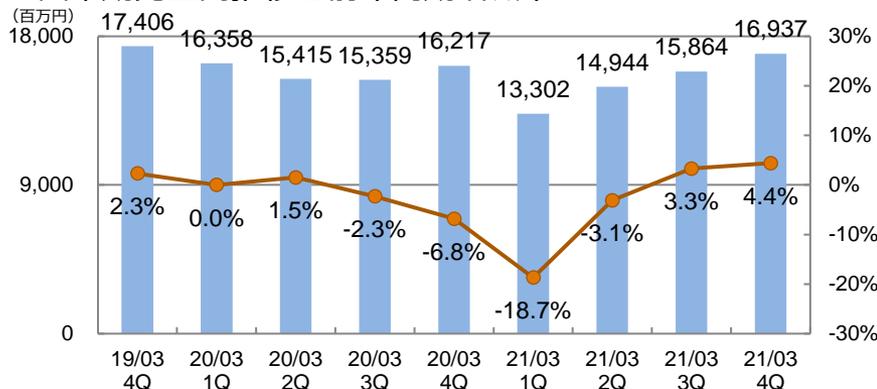
- 出品台数は266.1万台（前期比91.0%）、成約台数は168.0万台（前期比94.8%）、成約率は63.2%（前期実績60.6%）。
- 取扱台数の減少によりオークション手数料が減少するも、低額車コーナーの買取保証や人件費の減少などにより営業利益は前期を上回る。

## オートオークションのセグメント通期業績（累計）

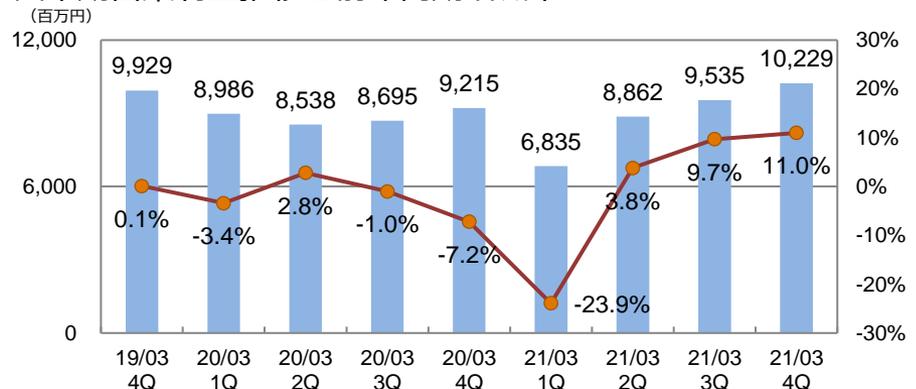
（単位：百万円）

	2019.3	2020.3	2021.3	前期比
売上高	64,684	63,350	61,048	96.4%
出品手数料	15,269	15,047	14,151	94.0%
成約手数料	14,898	14,499	14,088	97.2%
落札手数料	22,313	21,758	21,573	99.2%
その他	12,203	12,044	11,234	93.3%
営業利益	36,323	35,436	35,463	100.1%
営業利益率	55.8%	55.6%	57.7%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率

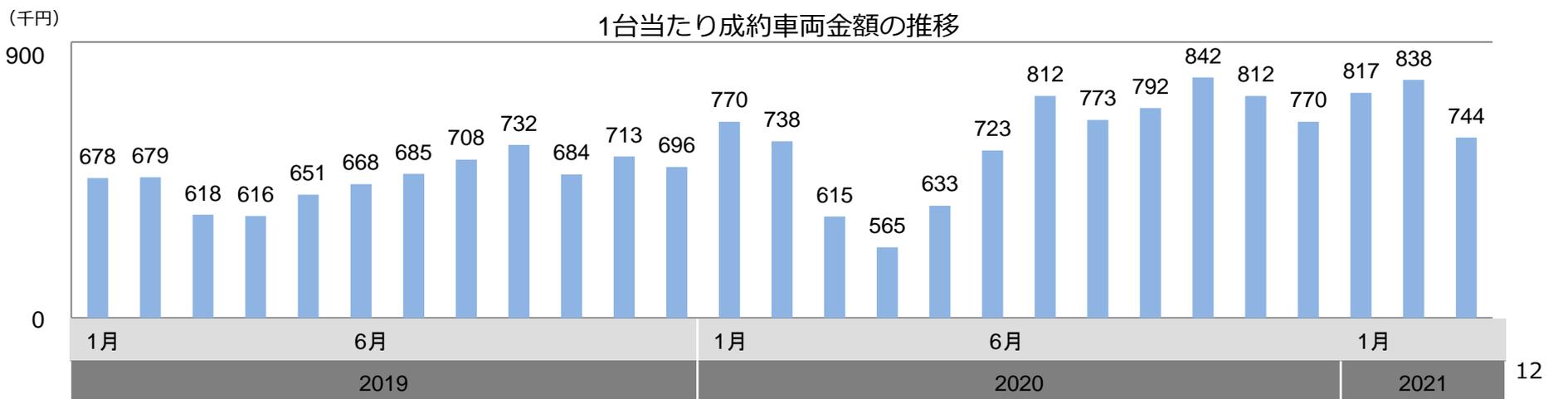
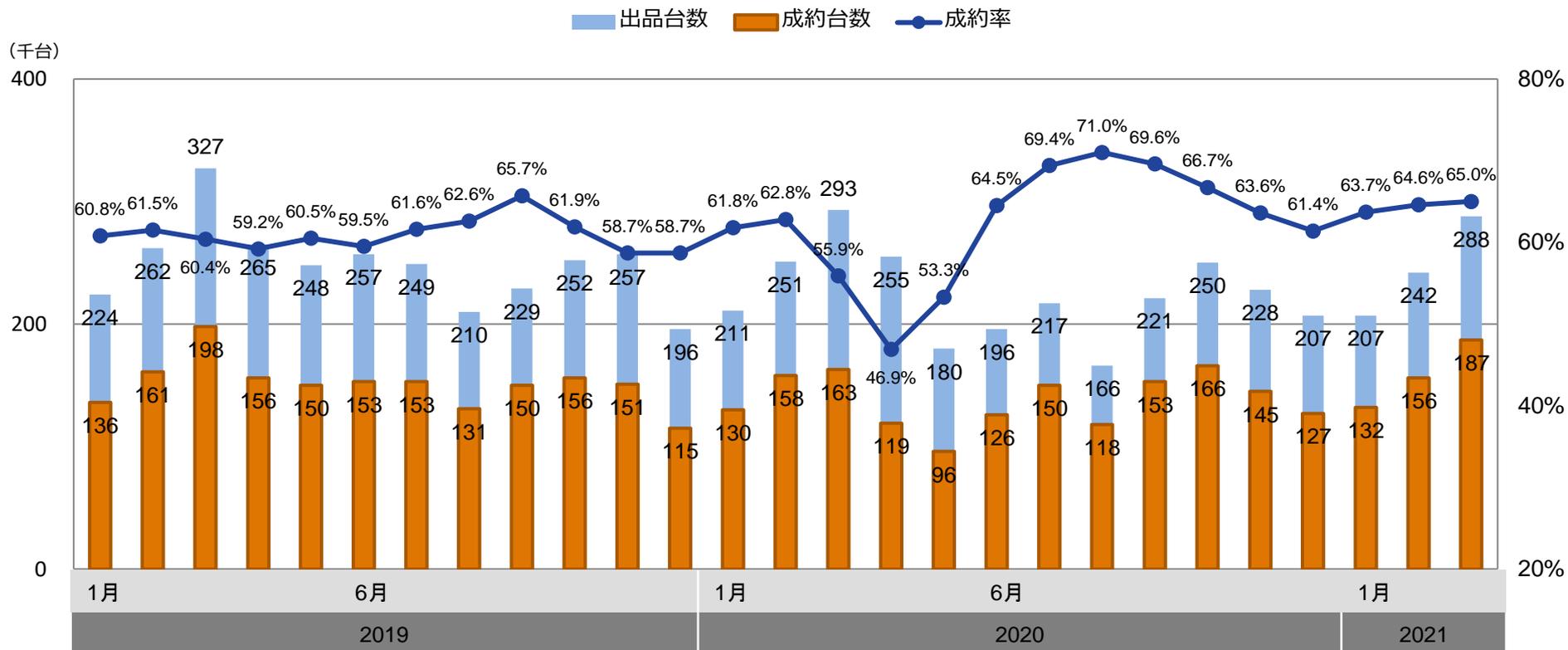


四半期営業利益推移と前年同期増減率



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

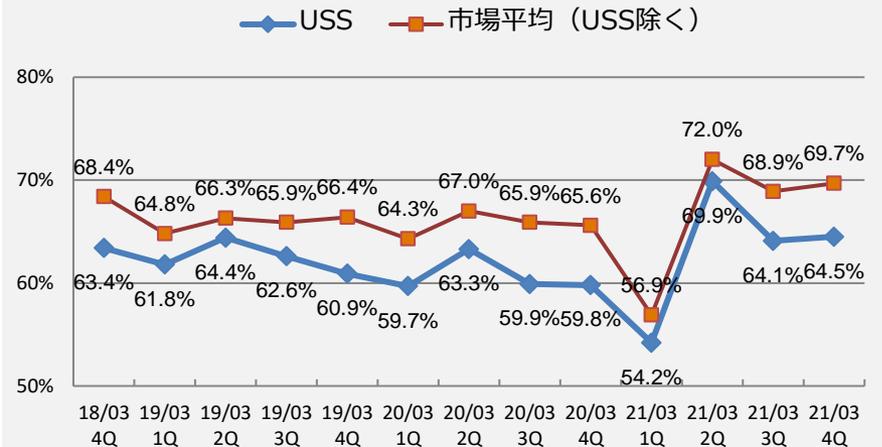
# オートオークションのセグメント② 月次推移



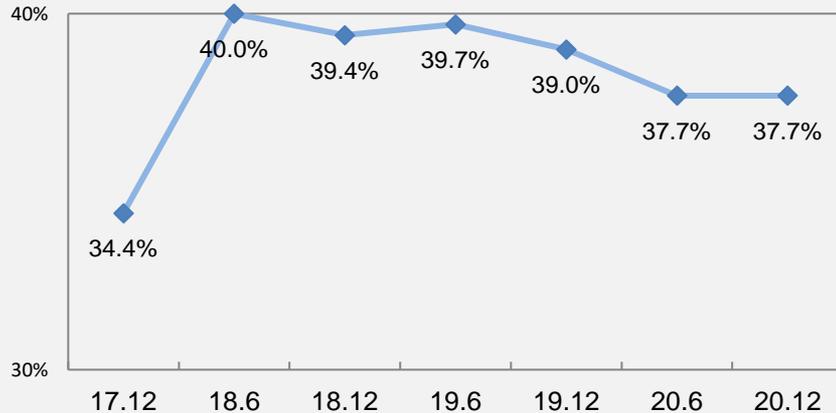
## 出品・成約台数の推移



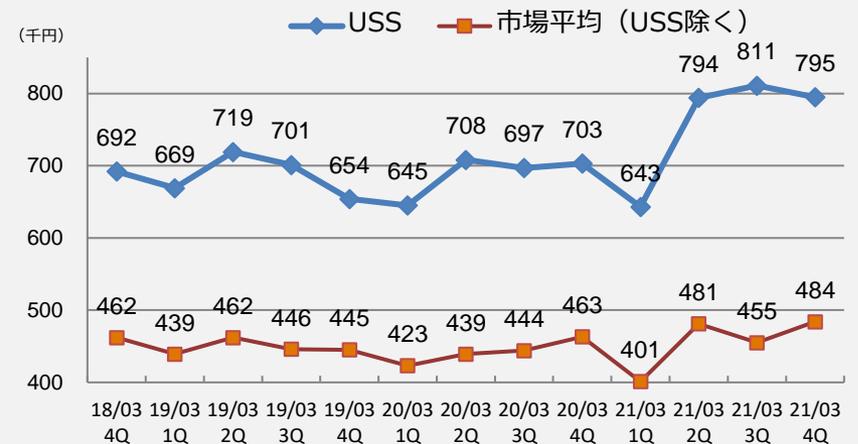
## 成約率の競合比較



## 出品台数市場シェアの推移

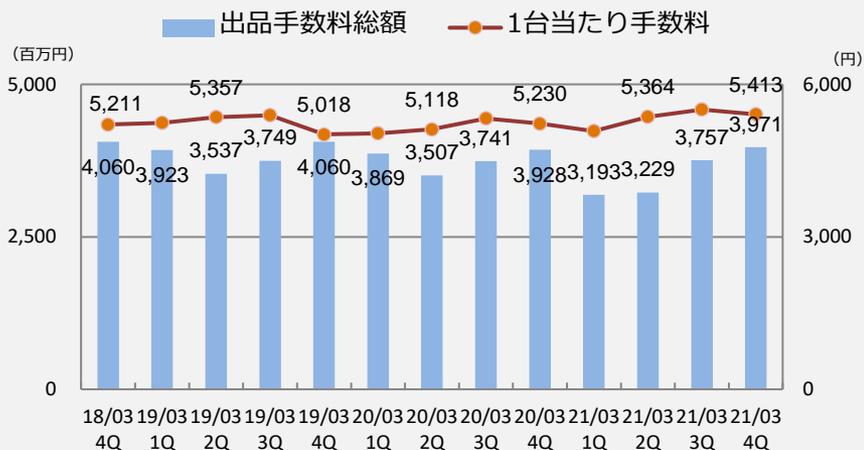


## 1台当たり成約車両金額の競合比較

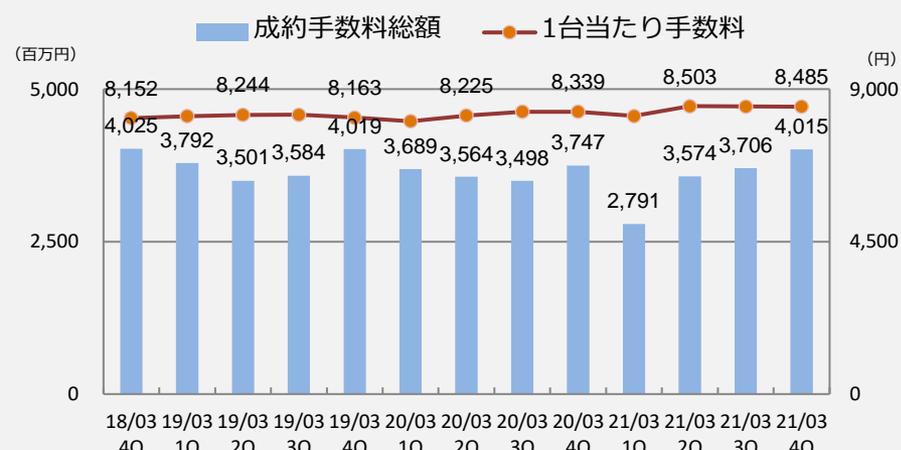


※12月期は暦年の、6月期は半年の数字を記載しております。  
 ※2017年10月よりJAA、HAA神戸の実績を含めております。  
 ※JBAの実績は含めておりません。

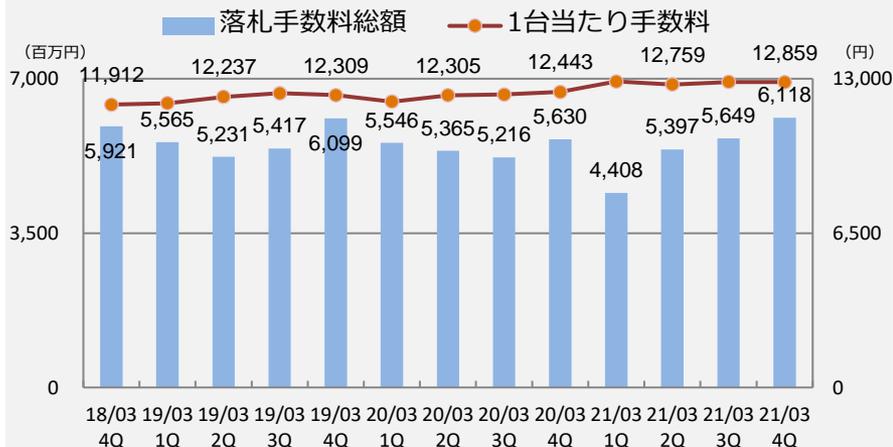
## 出品手数料総額と1台当たり手数料



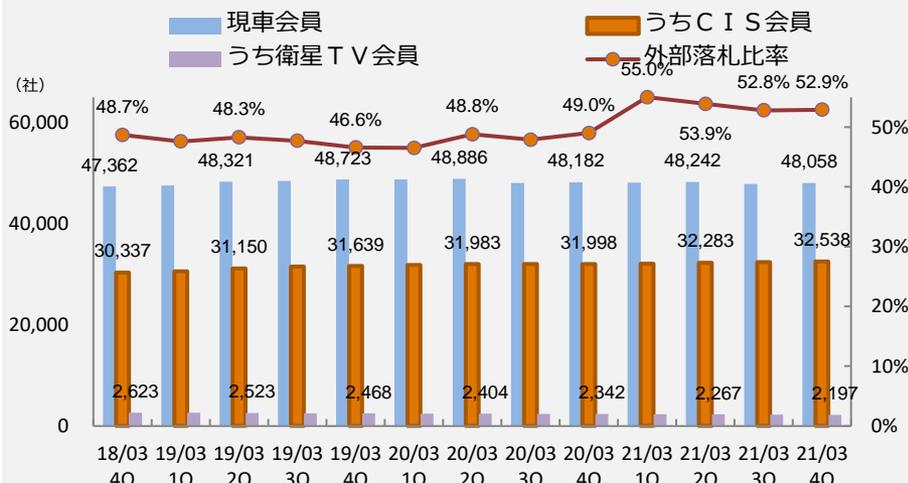
## 成約手数料総額と1台当たり手数料



## 落札手数料総額と1台当たり手数料



## 会員数と外部落札比率



※ 1台当たり手数料は、連結相殺前の数値をもとに算出しております。  
 ※ JBAの実績は含めておりません。

※ 2019年4月より外部落札比率の計算方法を見直しております。

# オートオークションのセグメント⑤

2020年4月から2021年3月までの12か月間

(単位：回、台)

	開催数		出品台数			成約台数			成約率	
	2021.3	2020.3	2021.3	2020.3	前期比	2021.3	2020.3	前期比	2021.3	2020.3
東京	49	49	617,968	662,972	93.2%	418,525	441,547	94.8%	67.7%	66.6%
名古屋	49	49	442,949	501,171	88.4%	251,495	263,145	95.6%	56.8%	52.5%
大阪	49	49	203,665	211,353	96.4%	110,658	109,542	101.0%	54.3%	51.8%
九州	49	48	187,467	192,538	97.4%	114,398	110,511	103.5%	61.0%	57.4%
横浜	48	50	175,997	198,179	88.8%	115,310	122,944	93.8%	65.5%	62.0%
札幌	49	49	132,298	140,841	93.9%	90,973	90,757	100.2%	68.8%	64.4%
R-名古屋	48	50	115,941	144,196	80.4%	96,276	117,353	82.0%	83.0%	81.4%
静岡	49	48	99,829	94,433	105.7%	62,839	61,257	102.6%	62.9%	64.9%
神戸	49	49	72,663	82,643	87.9%	42,697	48,193	88.6%	58.8%	58.3%
岡山	49	48	68,261	73,453	92.9%	49,648	48,494	102.4%	72.7%	66.0%
群馬	49	48	52,040	57,395	90.7%	35,207	37,586	93.7%	67.7%	65.5%
東北	49	49	50,410	56,703	88.9%	37,384	40,320	92.7%	74.2%	71.1%
新潟	49	49	47,168	42,908	109.9%	25,575	21,200	120.6%	54.2%	49.4%
埼玉	48	49	45,263	49,888	90.7%	25,675	29,301	87.6%	56.7%	58.7%
福岡	49	49	40,942	47,355	86.5%	25,379	30,352	83.6%	62.0%	64.1%
北陸	49	48	18,352	18,060	101.6%	12,963	12,308	105.3%	70.6%	68.2%
JAA	49	49	73,581	82,008	89.7%	40,796	44,811	91.0%	55.4%	54.6%
HAA神戸	49	48	216,290	267,956	80.7%	125,012	142,822	87.5%	57.8%	53.3%
合計	879	878	2,661,084	2,924,052	91.0%	1,680,810	1,772,443	94.8%	63.2%	60.6%

※四国会場の実績は2019年12月までは岡山会場、2020年1月以降はHAA神戸会場に含めております。

※埼玉会場は、落雷の影響により2020年8月のオークションを1開催休催しました。

※JBAの実績は含めておりません。

# オートオークションのセグメント⑥

(単位：台、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	年度
出品台数	2019.3	266,046	232,114	254,075	224,212	206,245	234,019	1,416,711	234,741	257,451	207,046	224,051	262,464	327,663	1,513,416	2,930,127
	増減率	13.5	26.4	16.1	14.4	21.6	11.5	16.8	▲1.5	2.8	▲3.4	11.1	7.3	▲3.0	1.7	8.5
	2020.3	265,360	248,623	257,709	249,936	210,323	229,142	1,461,093	252,790	257,226	196,407	211,406	251,864	293,266	1,462,959	2,924,052
	増減率	▲0.3	7.1	1.4	11.5	2.0	▲2.1	3.1	7.7	▲0.1	▲5.1	▲5.6	▲4.0	▲10.5	▲3.3	▲0.2
	2021.3	255,293	180,384	196,014	217,449	166,982	221,001	1,237,123	250,352	228,129	207,446	207,691	242,073	288,270	1,423,961	2,661,084
	増減率	▲3.8	▲27.4	▲23.9	▲13.0	▲20.6	▲3.6	▲15.3	▲1.0	▲11.3	5.6	▲1.8	▲3.9	▲1.7	▲2.7	▲9.0
成約台数	2019.3	159,017	147,501	158,657	143,599	131,988	152,066	892,828	152,009	161,603	123,834	136,324	161,389	198,004	933,163	1,825,991
	増減率	14.9	26.7	14.2	12.7	17.4	9.3	15.5	▲0.1	2.9	▲5.3	5.3	2.6	▲5.9	▲0.4	6.8
	2020.3	156,986	150,529	153,217	153,889	131,750	150,541	896,912	156,496	151,044	115,291	130,627	158,104	163,969	875,531	1,772,443
	増減率	▲1.3	2.1	▲3.4	7.2	▲0.2	▲1.0	0.5	3.0	▲6.5	▲6.9	▲4.2	▲2.0	▲17.2	▲6.2	▲2.9
	2021.3	119,644	96,174	126,384	150,887	118,526	153,725	765,340	166,954	145,090	127,329	132,226	156,459	187,412	915,470	1,680,810
	増減率	▲23.8	▲36.1	▲17.5	▲2.0	▲10.0	2.1	▲14.7	6.7	▲3.9	10.4	1.2	▲1.0	14.3	4.6	▲5.2
成約率	2019.3	59.8	63.5	62.4	64.0	64.0	65.0	63.0	64.8	62.8	59.8	60.8	61.5	60.4	61.7	62.3
	2020.3	59.2	60.5	59.5	61.6	62.6	65.7	61.4	61.9	58.7	58.7	61.8	62.8	55.9	59.8	60.6
	2021.3	46.9	53.3	64.5	69.4	71.0	69.6	61.9	66.7	63.6	61.4	63.7	64.6	65.0	64.3	63.2

※JBAの実績は含めておりません。

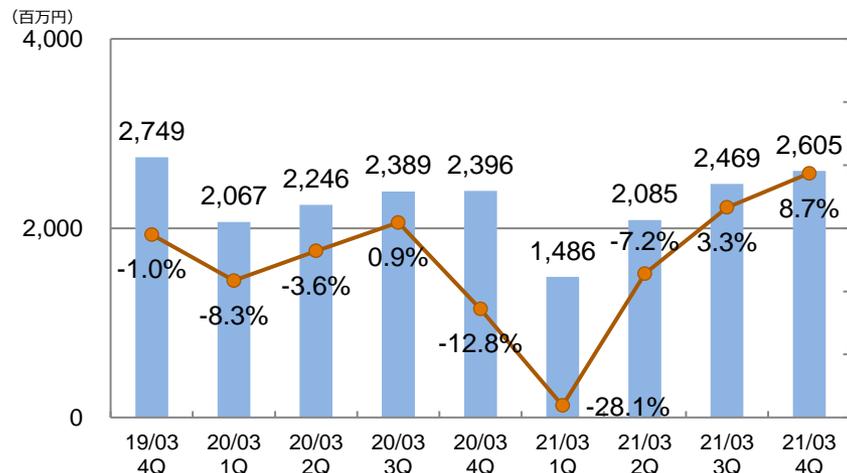
- 中古自動車買取専門店「ラビット」は、販売台数が減少するも、2020年5月の緊急事態宣言解除後、好調なオークション相場により台当たり粗利益が増加し減収増益。(売上高4,947百万円(前期比97.8%)、営業利益142百万円(前期比221.3%))
- 事故現状車買取販売事業は、販売台数が減少するも、2020年5月の緊急事態宣言解除後、台当たり粗利益が増加し減収増益。(売上高3,699百万円(前期比91.6%)、営業利益129百万円(前期比331.2%))

中古自動車等買取販売のセグメント通期業績 (累計)

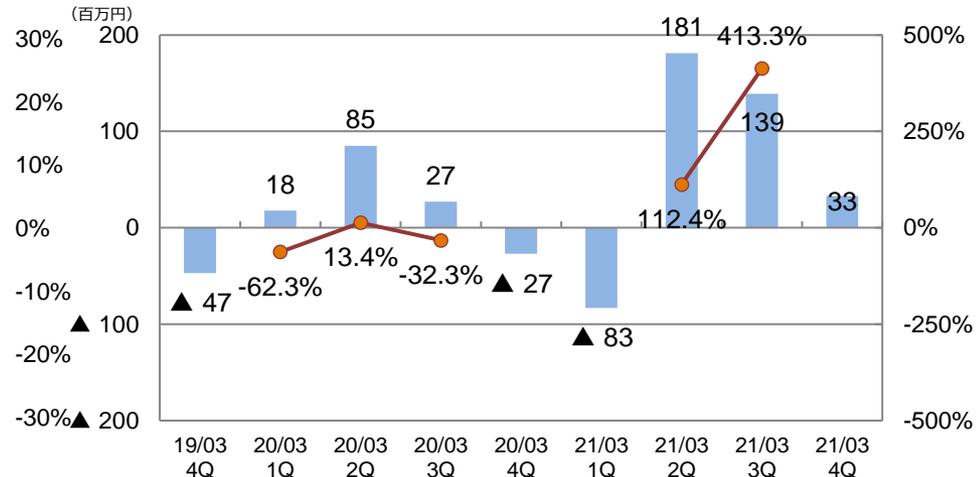
(単位：百万円)

	2019.3	2020.3	2021.3	前期比
売上高	9,701	9,099	8,646	95.0%
営業利益	116	103	271	262.8%
営業利益率	1.2%	1.1%	3.1%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率



四半期営業利益推移と前年同期増減率



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

# その他のセグメント

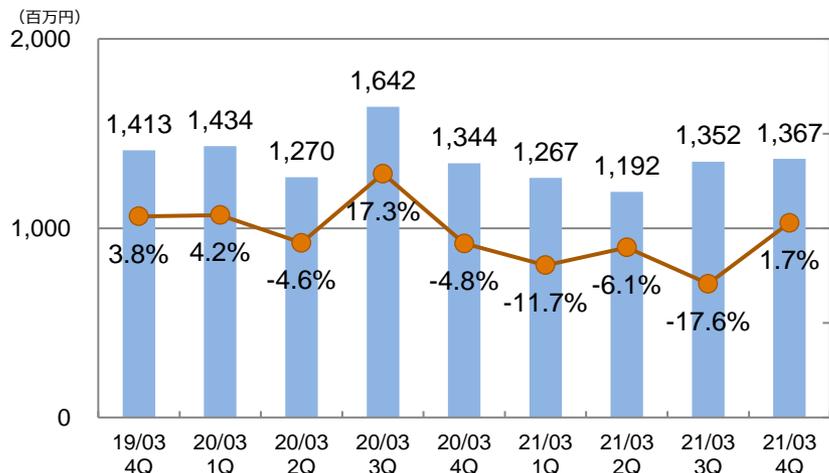
- リサイクル事業は、取扱量が減少するも鉄スクラップ相場が上昇傾向で推移し減収増益。(売上高4,829百万円(前期比93.6%)、営業利益376百万円(前期比121.6%) )
- 中古自動車輸出手続代行サービス事業※は、中古車輸出台数の大幅な減少による受注台数の減少により営業損失。(売上高263百万円(前期比58.5%)、営業損失29百万円(前期実績：営業利益32百万円) ) ※2021年3月31日付けで撤退し、事業会社は清算会社に移行しています。

## その他のセグメント通期業績 (累計)

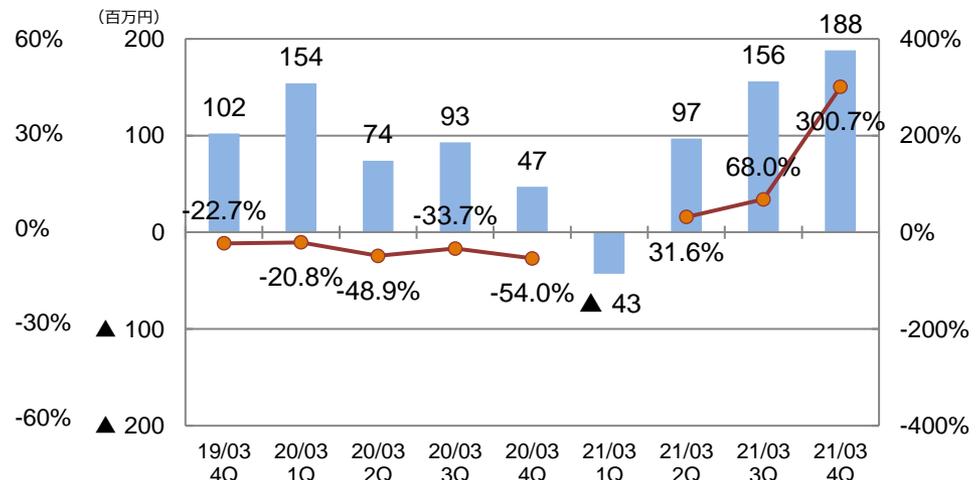
(単位：百万円)

	2019.3	2020.3	2021.3	前期比
売上高	5,522	5,692	5,180	91.0%
営業利益	583	369	400	108.4%
営業利益率	10.5%	6.4%	7.7%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率



四半期営業利益推移と前年同期増減率



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

# 2022年3月期 通期連結業績予想

---

- 新型コロナウイルス感染症の影響で不透明な状況が続くも、オートオークション市場は回復基調が続くと見込まれる。

(単位：百万円)

	2020.3 (実績)	2021.3 (実績)	2022.3 (計画)	前期比
売上高	78,143	74,874	77,600	103.6%
売上総利益 (売上比)	47,188 (60.4%)	46,533 (62.1%)	47,620 (61.4%)	102.3%
営業利益 (売上比)	36,009 (46.1%)	36,227 (48.4%)	38,400 (49.5%)	106.0%
経常利益 (売上比)	36,710 (47.0%)	36,996 (49.4%)	39,100 (50.4%)	105.7%
親会社株主に帰属する当期純利益 (売上比)	20,634 (26.4%)	4,022 (5.4%)	26,500 (34.1%)	658.8%
1株当たり当期純利益 (円)	82.44	16.13	106.29	659.0%
設備投資 (支出ベース)	4,523	8,985	4,400	49.0%
減価償却費	5,037	5,334	4,909	92.0%
<b>オートオークション事業(JBA除く)</b>				
	2020.3 (実績)	2021.3 (実績)	2022.3 (計画)	前期比
出品台数 (千台)	2,924	2,661	2,800	105.2%
成約台数 (千台)	1,772	1,680	1,708	101.6%
成約率	60.6%	63.2%	61.0%	-

## 売上高要因

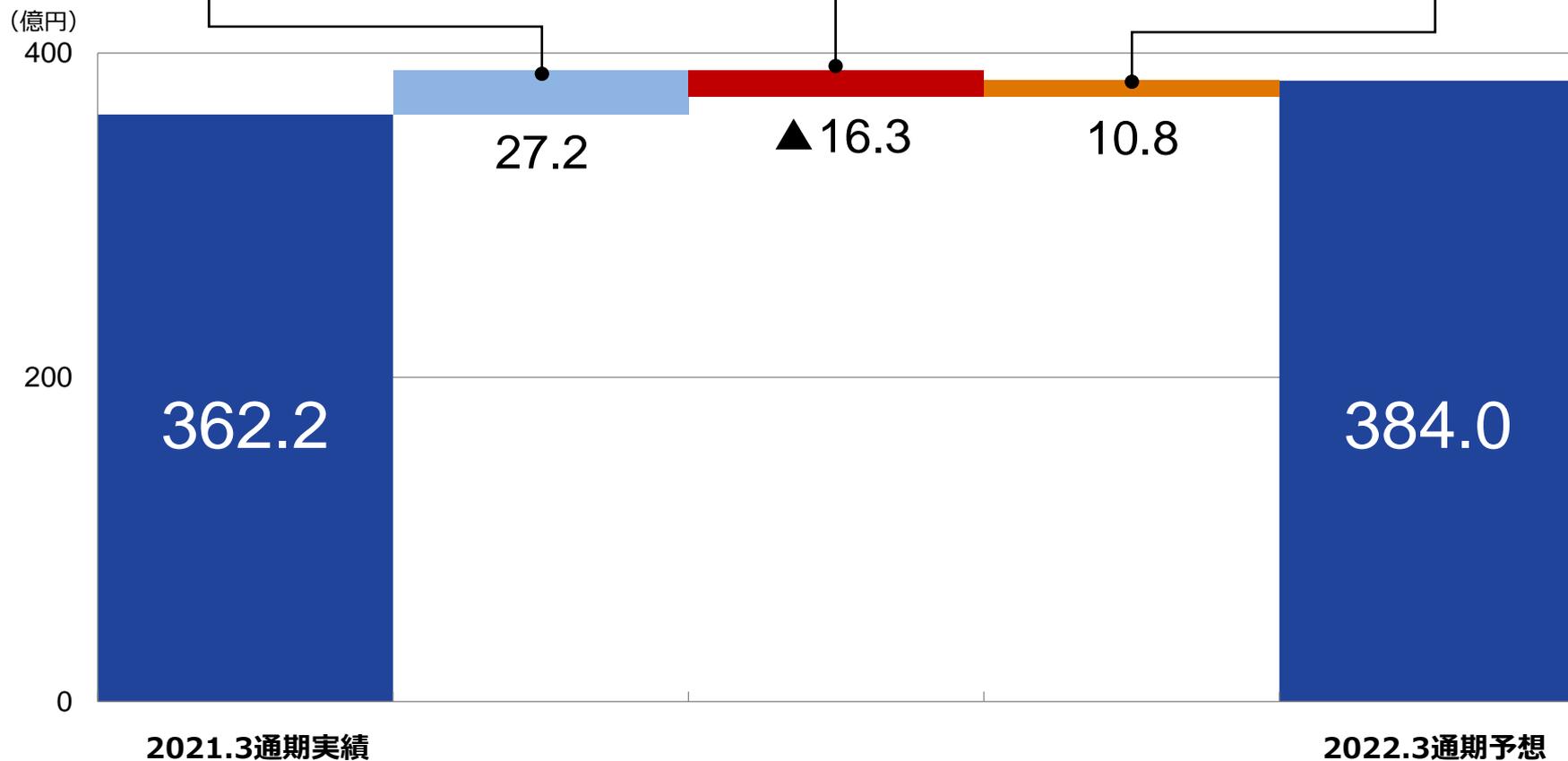
出品台数増	26.0億円
リサイクル増	9.4億円
中古自動車等買取販売増	4.0億円
成約率減	▲12.8億円

## 売上原価要因

仕入れ高増	▲7.9億円
商品売上原価増	▲7.4億円

## 販管費要因

のれん償却額減	12.0億円
---------	--------



(単位：百万円)

	2020.3 (実績)	2021.3 (実績)	2022.3 (計画)	前期比
<b>売上高</b>				
オートオークション	63,350	61,048	62,695	102.7%
中古自動車等買取販売	9,099	8,646	9,051	104.7%
その他	5,692	5,180	5,853	113.0%
<b>合計</b>	<b>78,143</b>	<b>74,874</b>	<b>77,600</b>	<b>103.6%</b>
<b>営業利益 (売上比)</b>	<b>36,009 (46.1%)</b>	<b>36,227 (48.4%)</b>	<b>38,400 (49.5%)</b>	<b>106.0%</b>

# 市場環境認識と 中期的な価値創造に向けた戦略

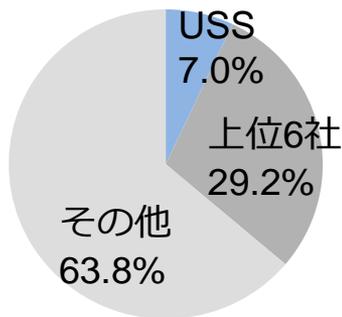
---

# オートオークション市場とUSSのシェア

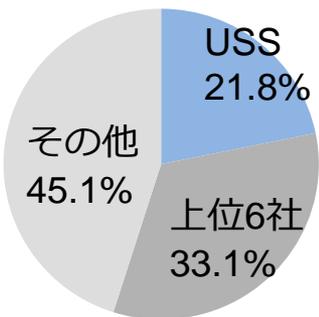
■ 金融危機(2008-2009年)以降、市場が伸び悩む中でも高シェアを維持しながら利益を拡大。

■ JAAの子会社化で、市場シェアが大きく上昇。

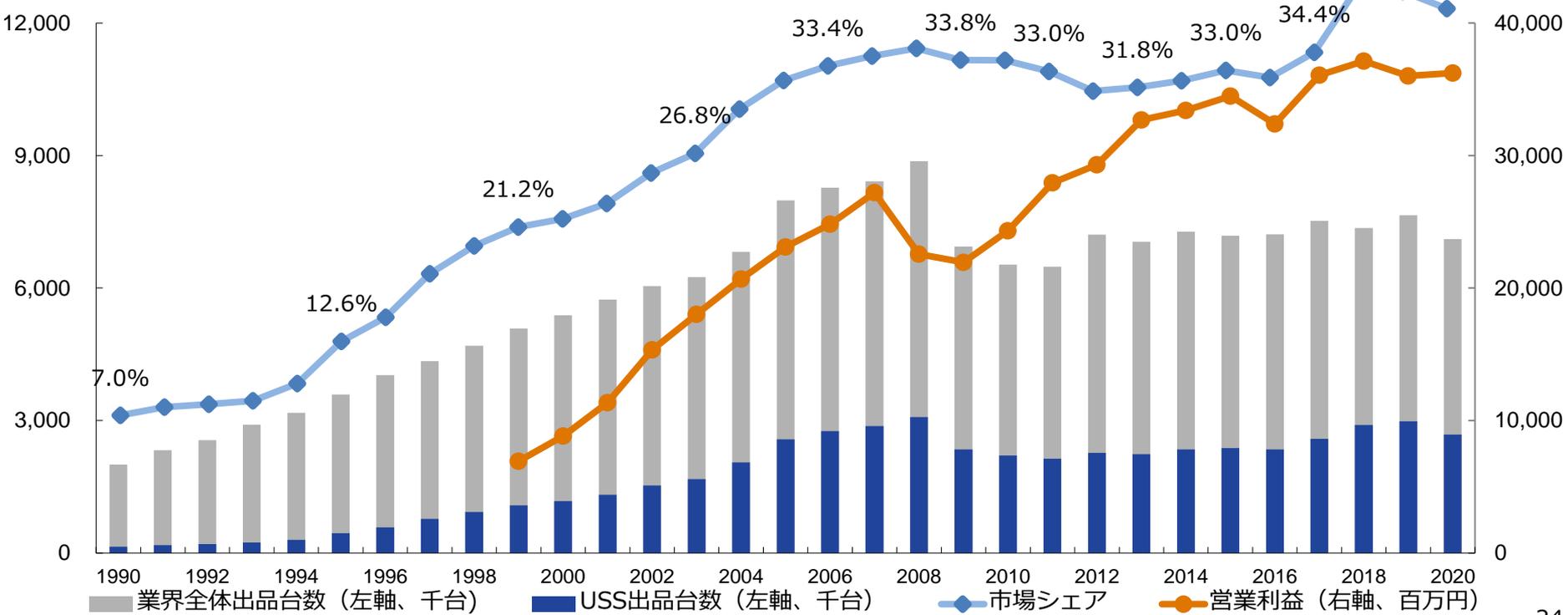
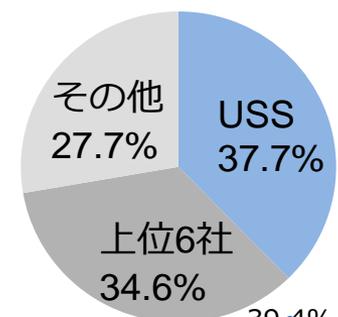
1990年（暦年）市場シェア



2000年（暦年）市場シェア

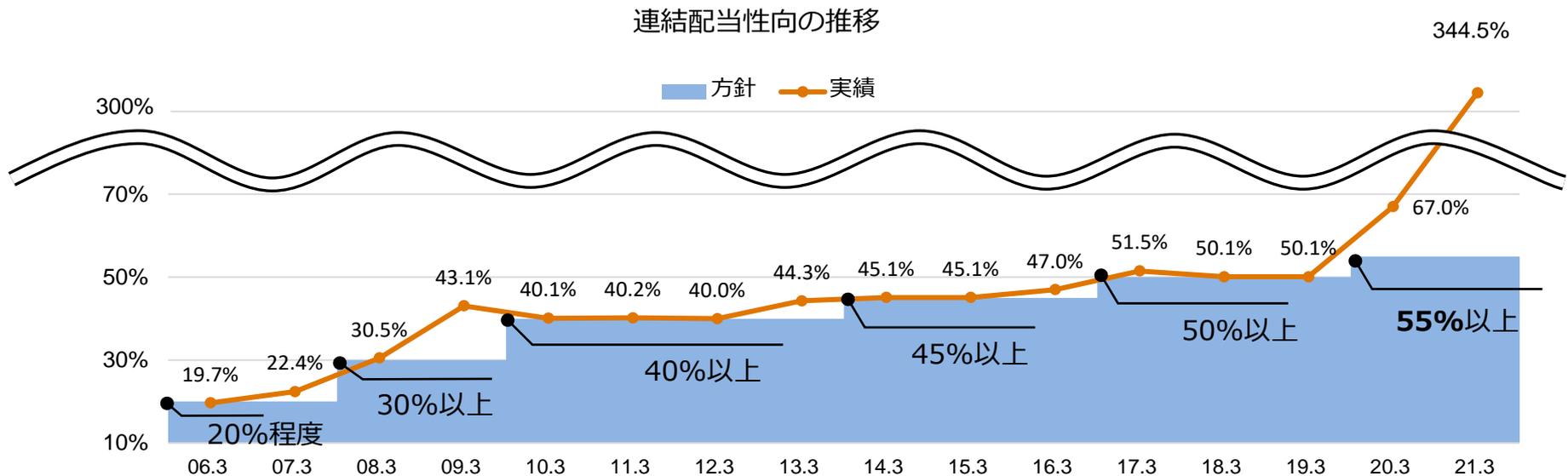


2020年（暦年）市場シェア



## 成長投資とともに株主還元の充実を継続

■連結配当性向：2020年3月期より**55%以上**に引き上げ。

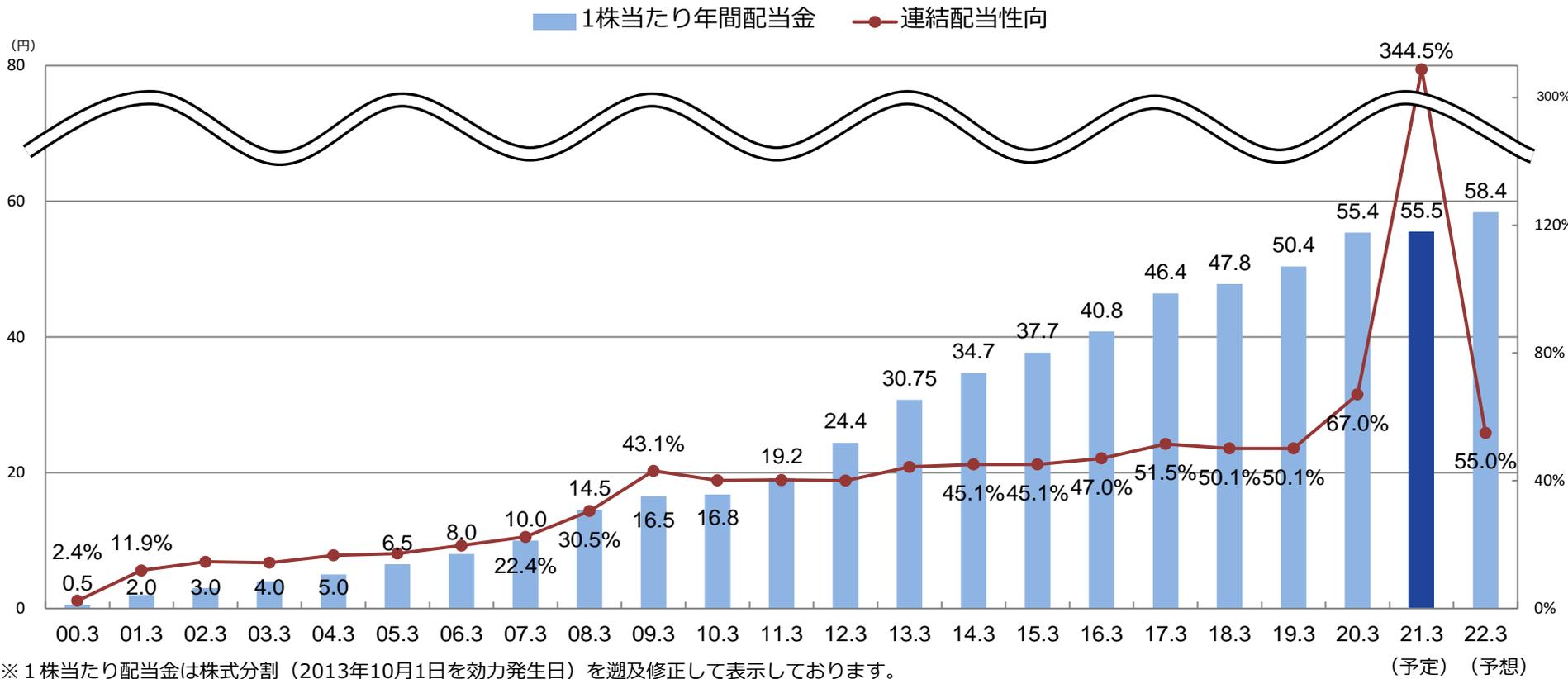


■自己株式取得：キャッシュ・フロー、設備投資計画、市場環境等を考慮のうえ、機動的に実施。

■株主資本利益率（ROE）：中期的に15%以上の水準を目指す。

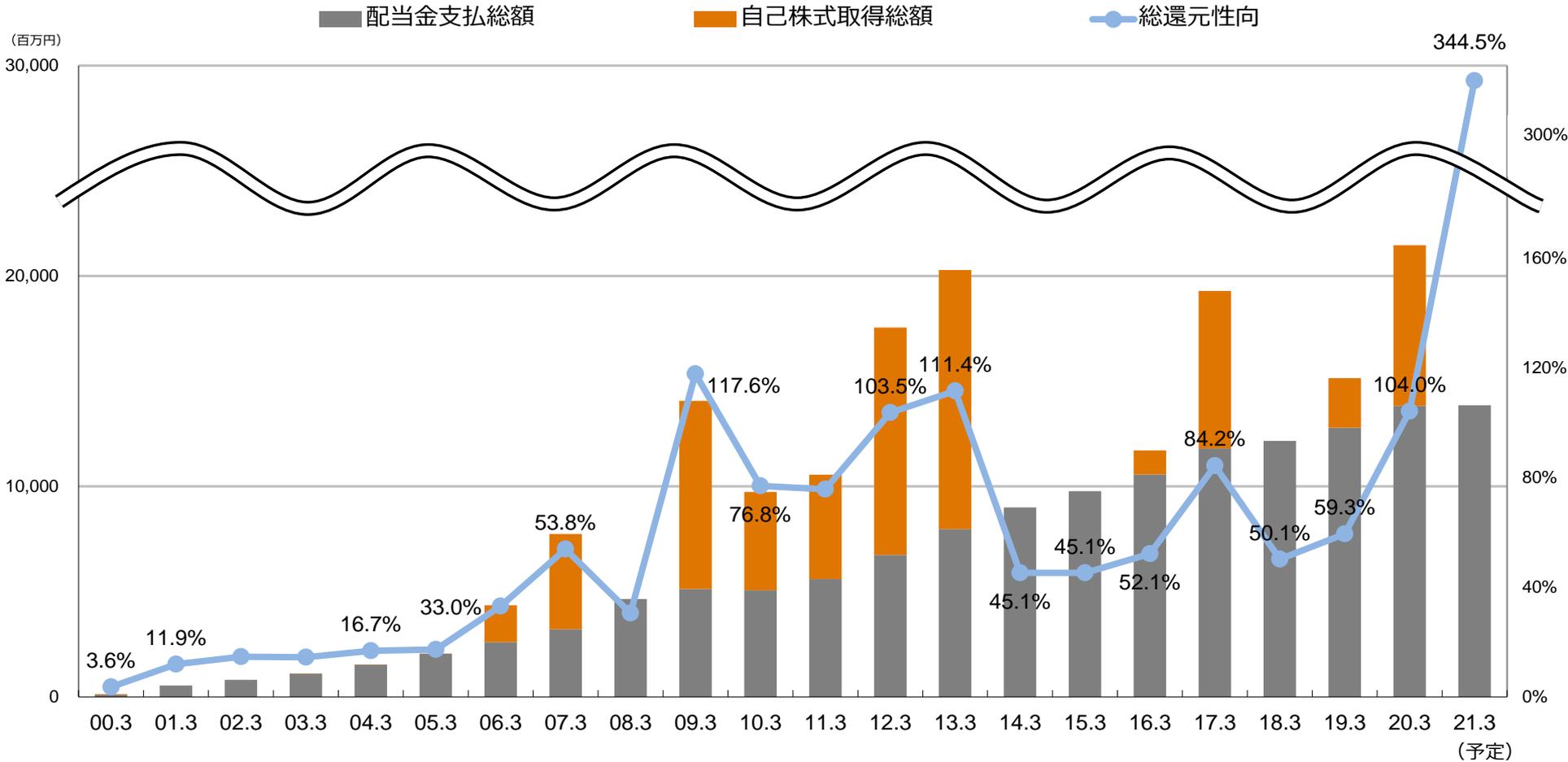
# 株主還元：配当政策

- 2021年3月期の1株当たり年間配当金：**55.5円**（前期比0.1円増）を予定。
- 2022年3月期の1株当たり年間配当金：**58.4円**（前期比2.9円増）を予想。
- 株式上場以来**22期**連続増配予想。



# 株主還元：総還元性向

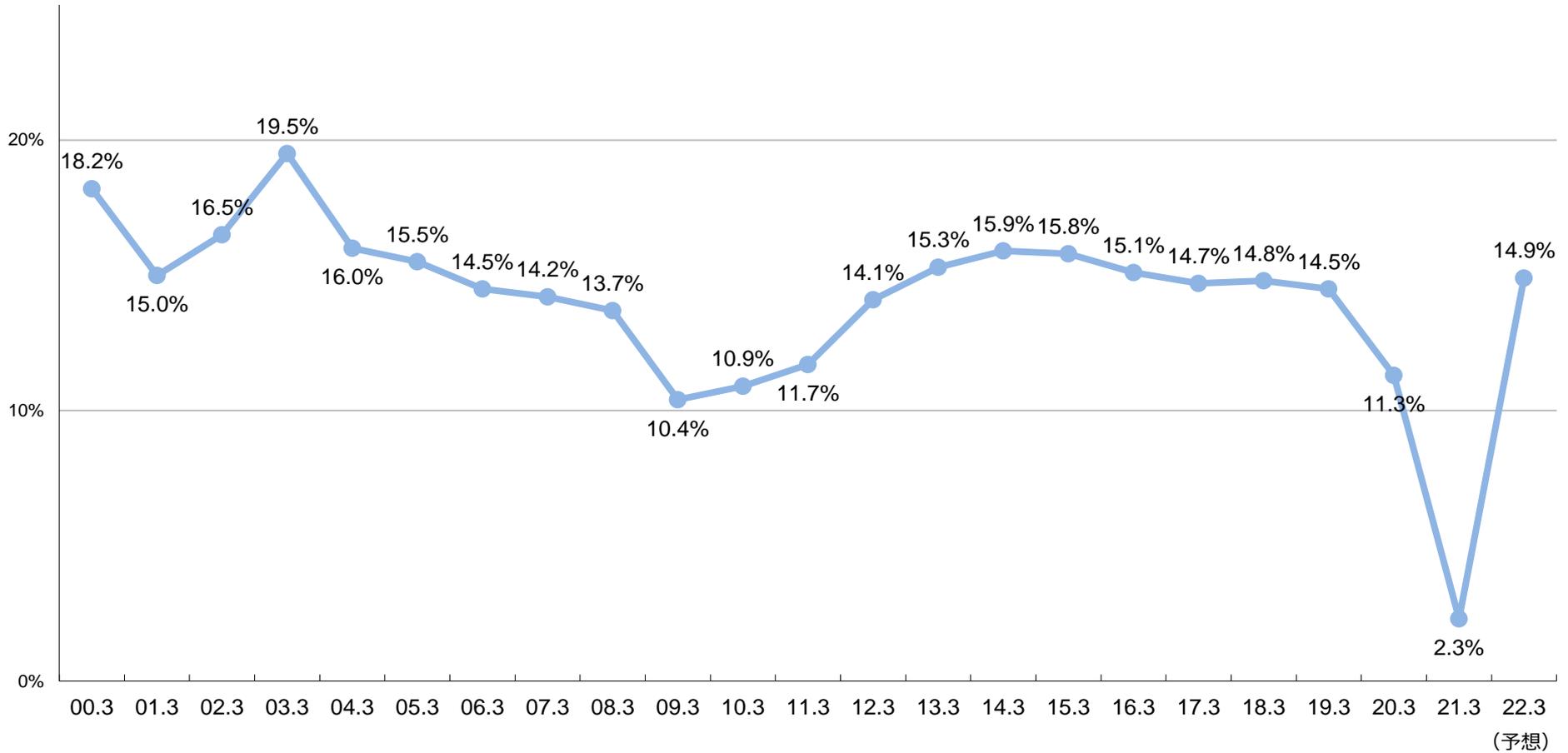
■安定的な配当とともに、機動的な自己株式取得を実施。



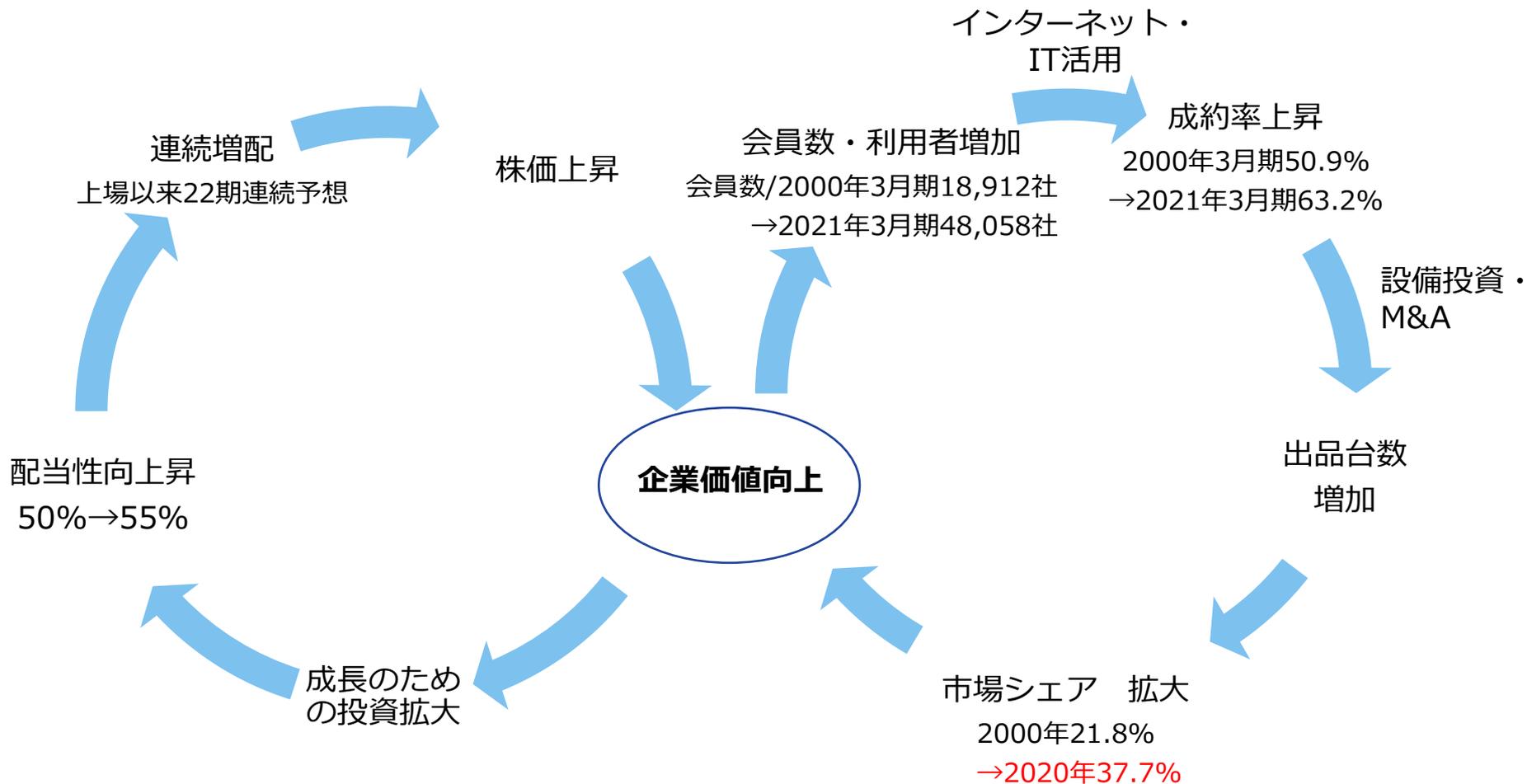
# 株主還元：株主資本利益率（ROE）

■中期的に15%以上の水準を目指す方針は不変。

## ROEの推移



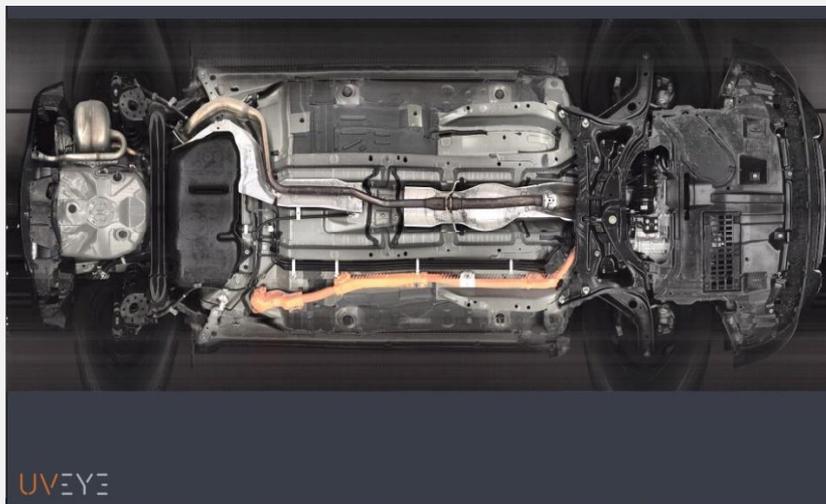
## ■成長投資と株主還元の両輪で株主価値の向上を目指す。



- 車両検査において、目に見えない瑕疵を見えるようにするため新たなシステムを導入。

## 下回り画像システム

車両の下部とタイヤ・ホイールの撮影システムを導入。専用の撮影ユニットで画像を撮影。下見では確認できない車体下部や外観（タイヤ・ホイール側面）のキズや凹みなどを見ることができます。



下回り画像 ※インターネット会員のみ閲覧可能

## OBD検査

業界初となる車載式故障診断装置(OBD:On-Board Diagnostics)を車両検査に導入。OBD機器でブレーキ、エンジンや安全装置などの機能をチェック、異常がなかった車両のみが専用コーナーへ出品されます。



イメージ/OBD機器による車のスキャン

- 出品票のデジタル化に向けた取り組みを開始。2022年3月期中の本格運用を目指し名古屋会場等でテスト運用を始めております。  
デジタル化により会員の利便性向上やオークション業務の効率化に繋がります。  
出品票のデジタル化により、今後の活用方法も多岐にわたることが想定されます。

## 現状

会員は紙の出品票に車両情報を記載し、USSに提出。

→USS検査員が車両を検査し、評価を出品票に手書きで記載。

## デジタル出品票導入

出品会員が専用Webサイトより車検証のQRコードを読み込むと、その車両情報が簡単にデジタル化されます。

その車両情報はUSS検査員のもつ検査タブレットに反映され、検査員は検査結果をタブレットに入力※します。

※ キズや凹みの程度などを選択式で選ぶ形式を採用することで、検査結果の表現が統一される。



検査タブレット画面イメージ

## IRに関するお問い合わせ

株式会社ユー・エス・エス  
統括本部 総務部

電話 : 052-689-1129

E-mail : [irinfo@ussnet.co.jp](mailto:irinfo@ussnet.co.jp)

### <注意事項>

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の基となる前提や予測を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料の金額は、表示単位未満の端数を切捨てて表示しております。
- 本資料の百分率（%）は、小数点第2位を四捨五入して表示しております。

出所

（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会、（株）ユーストカー、財務省貿易統計

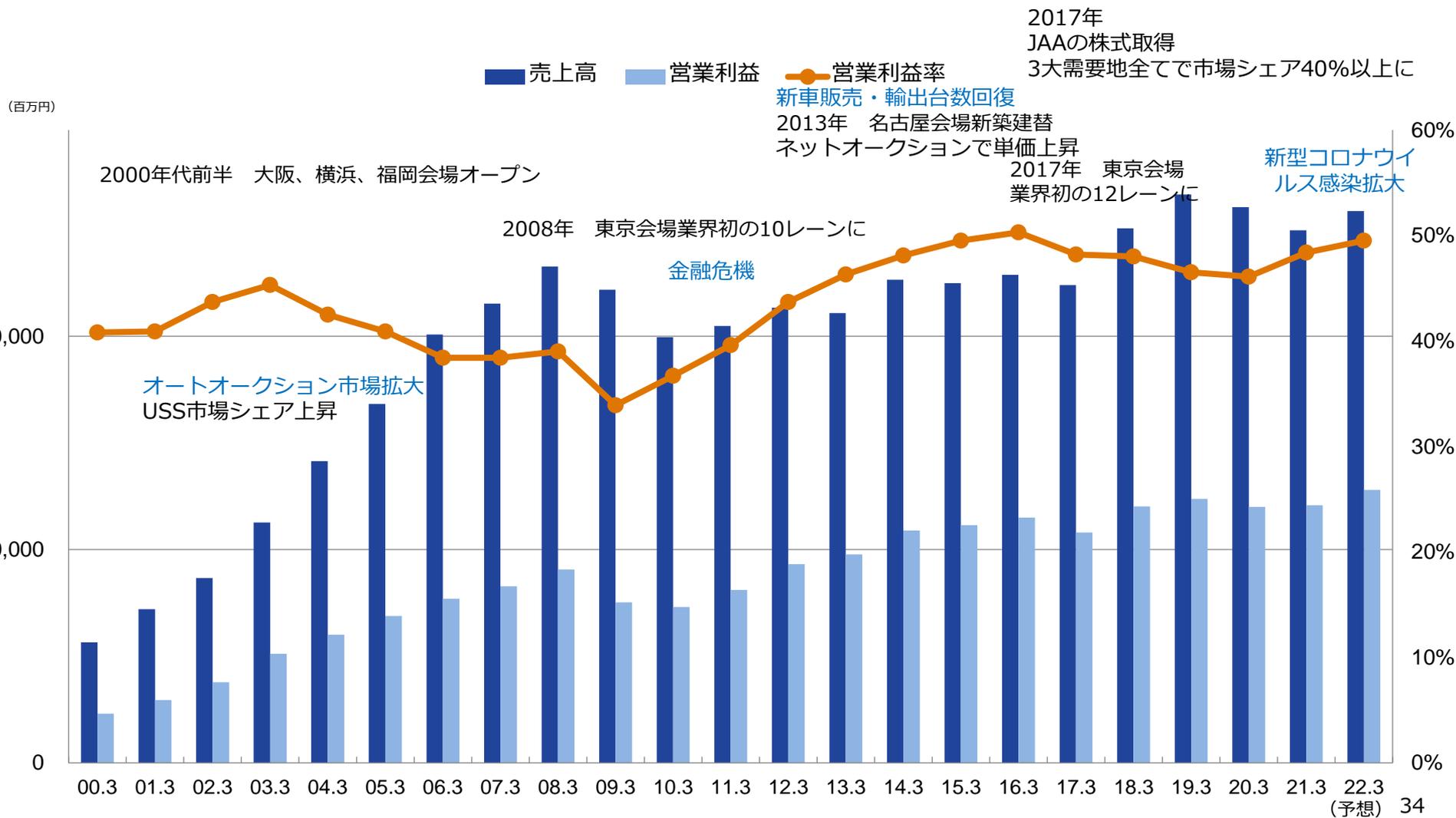
ご参考

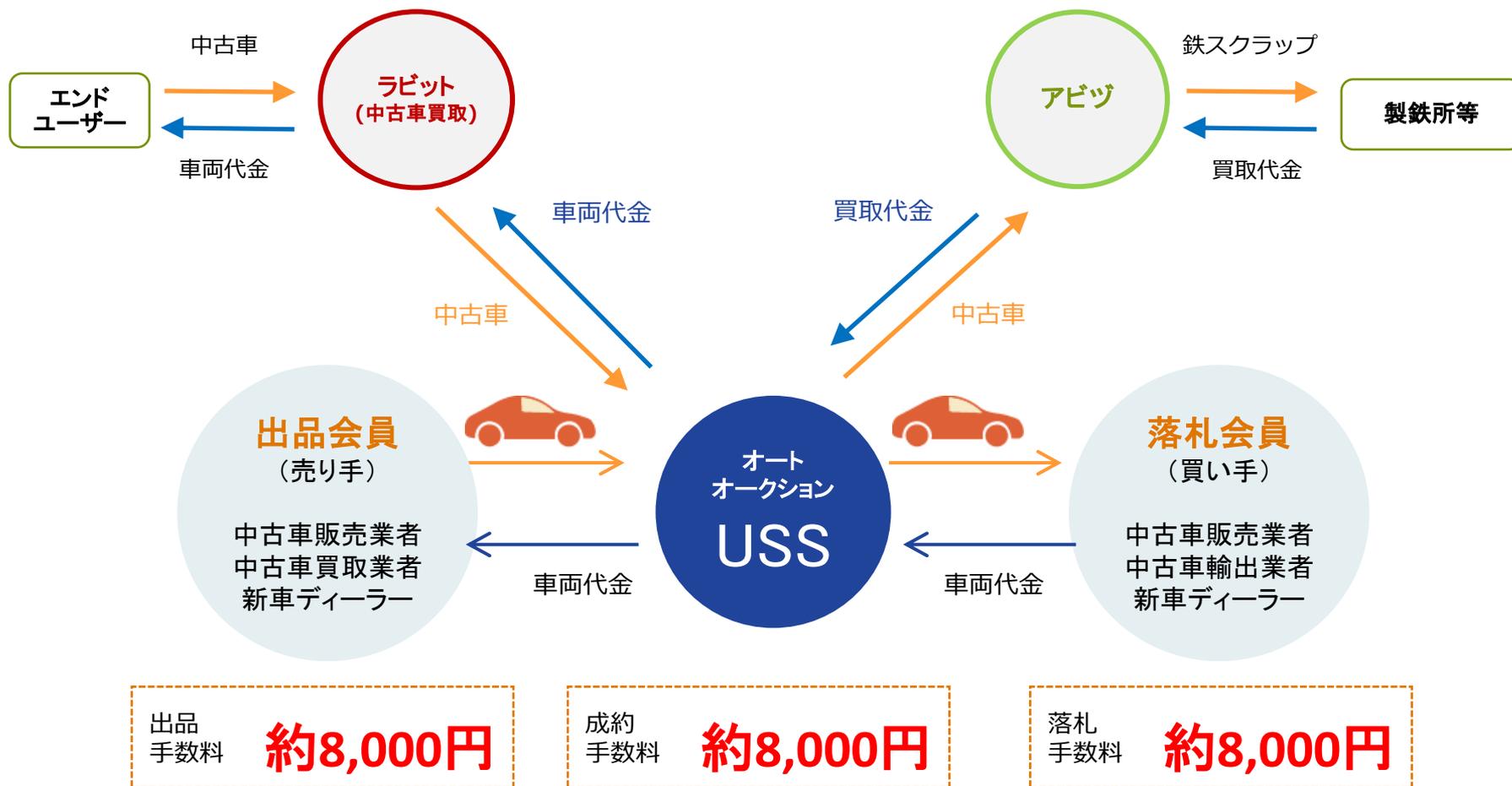
---

# USSの長期にわたる成長の歴史

## 2000年以前の歴史

- 1982年 出品台数255台で第1回オートオークション開催。
- 88年 名古屋会場拡張 日本最大570席に
- 90年代前半 九州 東京会場オープン
- 90年代後半 岡山、静岡、札幌、西東京（現：埼玉）会場オープン



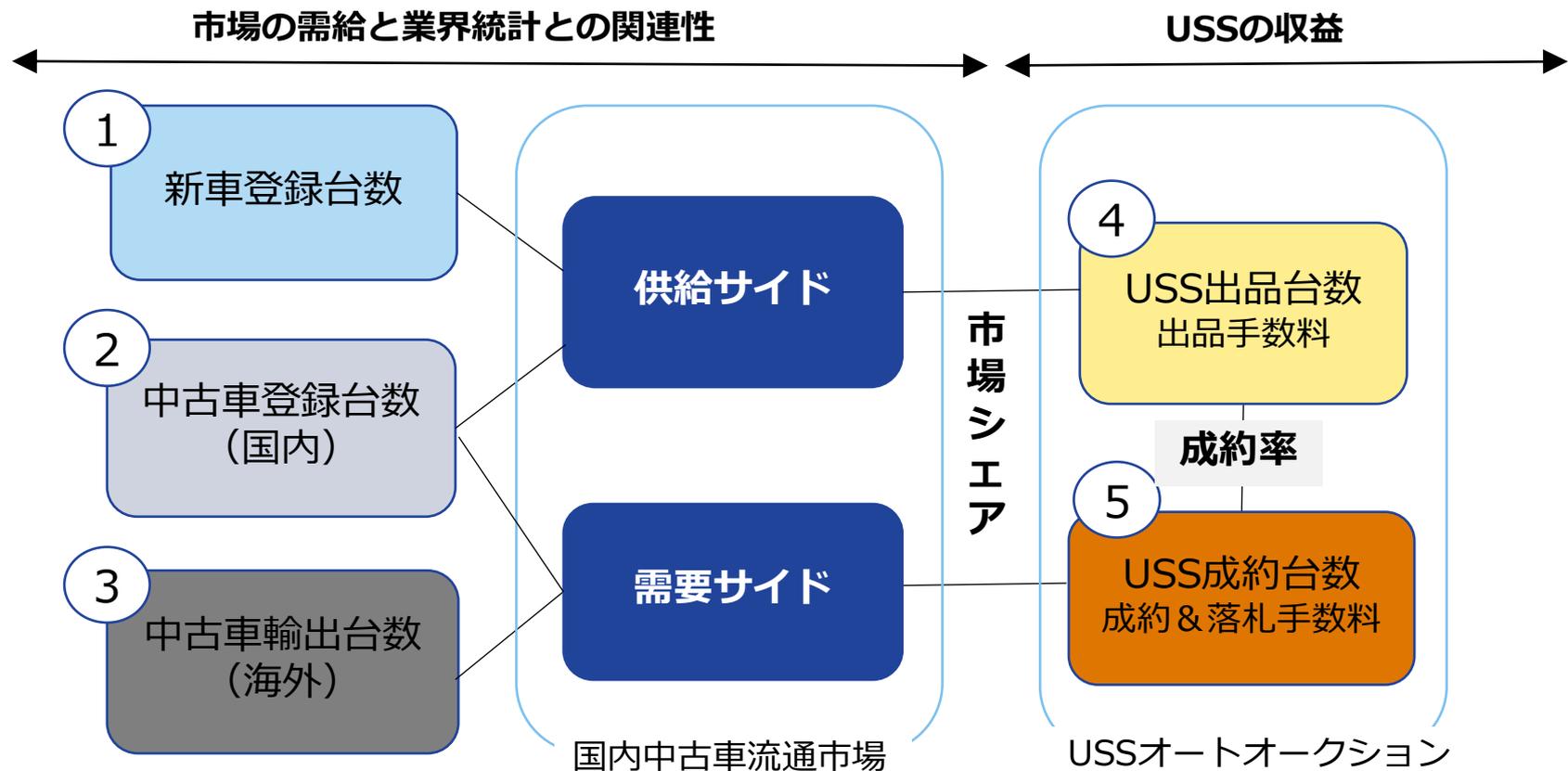


年間出品台数 **266万台**  
(2021年3月期実績)

1台の成約につき  
USSへの手数料 **約24,000円**

成約率 **63.2%**  
(2021年3月期実績)

- オートオークション市場への中古車供給台数は、下取りを通して①新車登録台数と②中古車登録台数に連動。
- 需要サイドは国内外の中古車需要（②③）であり、近年は海外（輸出）が牽引。
- 上記市場要因に加え、オートオークション市場における市場シェア及び成約率が、USSオートオークションの収益変動要因となる。



# 新車・中古車登録台数とオートオークション市場の推移

- 2000年頃までは中古車流通におけるオークション利用率上昇により、オートオークション市場が拡大。  
2000年代半ば以降は、低年式・多走行車などそれまで解体されていた車両がオートオークション会場へ流入し、オークション出品台数の増加が続いた。
- 金融危機（2008年後半）以降のオートオークション市場は新車登録台数（供給）と中古車輸出台数（需要）におおむね連動。

新車・中古車登録台数、中古車輸出台数とオークション出品・成約台数の推移（暦年）

